

自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 22年 6月 15日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	2773302035		
法人名	株式会社 大阪ヘルスバンク		
事業所名	グループホーム AMG		
サービス種類	認知症対応型共同生活介護		
所在地	大阪市西成区千本北一丁目20番11号		
自己評価作成日	平成 22年 5月 29日	評価結果市町村受理日	平成 年 月 日

【事業所基本情報】

① 介護サービス情報の公表制度の基本情報を活用する場合	
② 情報提供票を活用する場合	

① 基本情報リンクURLを記入 ② 別紙情報提供票のとおり

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人 近畿マネジメント・サポート・センター
所在地	大阪市東住吉区山坂五丁目5番14-103号
訪問調査日	平成 22年 6月 7日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

入居者さまの意思・人権を尊重し、一人ひとりのリズムに合わせた介護を目指し、心身の特性を踏まえた上で、個性と尊厳を持って自立して日常生活を送っていただけるよう支援している

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

ホームは開設後4年半を迎えているが、3年以上の勤続職員が中心となって、日々の介護に当たっているため、利用者は安定した介護と暖かい配慮のケアを受けながら、気楽に過ごしている。管理者は、1ヶ月前に着任したばかりなので、ホーム運営の細部については、ご家族をはじめ関係者のご希望や地域的な問題等を含め、万全の体制を整えていくことにしている。具体的には、理念に掲げている、安心とゆとりのある生活、を利用者に楽しんで頂くことを目標にし、又、運営推進会議や、自治会や老人会、その他の地域の会合にも積極的に出席して交流を図り、運営や介護に役立つ情報も交換することになっている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○ 理念の共有と実践 地域密着型サービスとしての意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念「利用者一人ひとりに合わせた介護で安心とゆとりの生活を楽しんで頂けること」を掲げて共有している	これからは、毎月定例の職員会議の開催を予定している	
2	2	○ 事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として、日常的に交流している	運営者が地域の各種自治団体等の活動に参加してはいるが、地元との交流は、散歩やご挨拶程度となっている		
3		○ 事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や、支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議において認知症の理解や支援のあり方などを説明するようにしている	/	/
4	3	○ 運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について、報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は残念ながら、開催することができなかった	種々の事情により、運営推進会議の開催がなかった	運営者、行政とも相談の上で、仕切り直しをして進めたい
5	4	○ 市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市の福祉担当の方が来訪されるので、職員とともに懇談を行なっている	市の担当職員が来訪されて、情報交流が出来る	
6	5	○ 身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて、身体拘束しないケアに取り組んでいる	やむを得ない事由が生じた場合を除き、指定基準および関係法令に従い、すべての職員が身体拘束をしないようにしている	特に問題とする場合はなかった	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○ 虐待防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	高齢者虐待防止法等に従い、すべての職員は虐待をした場合、あるいはあきらかに虐待と見受けられる場合は市町村に報告するよう指示している		
8		○ 権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見人制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	市からの情報やパンフレットなどを用い、活用できるよう取り組んでいる		
9		○ 契約に関する説明と納得 契約の締結、解約または改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	ご本人・ご家族と面談時、十分な説明を行ない、不安や疑問な点がないか確認し、契約を行っている		
10	6	○ 運営に関する利用者、家族等の意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員、並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情・相談を常時受けつけている	問題となるような事例はなかった	
11	7	○ 運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や、提案を聞く機会を設け、それらを反映させている	ミーティングを随時行い、スタッフ全員の意見を聞き、話し合っている	体系的な研修計画と、職員との自由な話し合いが進められることを期待したい	焦らずに進めて欲しい
12		○ 就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう、職場環境・条件の整備に努めている	スタッフ個々の勤務状況等を勘案し、給与水準の向上を検討している		
13		○ 職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際の力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	病院研修や勉強会などをフロア内で行っている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
14		<p>○ 同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	グループホーム協会に加入し、同区内のグループホーム管理者と情報交換を行い、サービスの質の向上に努めている		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○ 初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	来所面談、訪問面談時など、状況に応じた面談の機会をつくり、ご本人の困っていることや不安なことを傾聴し対応している		
16		<p>○ 初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	ご家族の置かれている状況を十分に把握し不安な気持ちを受け止め、安心できるよう努めている		
17		<p>○ 初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	状況を十分に把握しご本人・ご家族の要望に沿ったサービス利用が受けられるよう対応している		
18		<p>○ 本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を支援される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	調理、掃除などを一緒に行いながら、入居者一人ひとりの人格を尊重し、支えあう関係づくりに努めている		
19		<p>○ 本人と共に過ごし支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	利用者のお誕生日やクリスマス会などのイベントに参加していただき、面会時に一緒に昔の話などを聞いたりするようにしている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	8	○ 馴染みの人や場との関係継続の支援	友人、知人などが気軽に来訪できるようない雰囲気づくりに努めている	殆ど来訪者は来られない	
		本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や、場所との関係が途切れないよう、支援に努めている			
21		○ 利用者同士の関係の支援	リビングで集える雰囲気づくりをしたり、一緒に作業することでコミュニケーションの場づくりができるよう努力している	/	/
		利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている			
22		○ 関係を断ち切らない取り組み	入院などにより退去になった場合なども、相談やアドバイスができる関係が築けるよう努力している	/	/
		サービス利用（契約）が終了しながら、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている			
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○ 思いやり意向の把握	申し送りで必ず一人ひとりの思いや希望、意向について把握している	記録は一人ひとりに寄り添って聞き出すように、努めている	
		一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している			
24		○ これまでの暮らしの把握	ご家族からの情報や福祉担当からの面談時などの情報の収集、ご本人の話から把握できるよう努めている。	/	/
		一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている			
25		○ 暮らしの現状の把握	毎朝のバイタルサインチェックや、体重測定を毎月行い、心身状況を把握し、異常の早期発見できるよう努めている。	/	/
		一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の、現状の把握に努めている			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○ チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題と、ケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>月1回、介護計画の見直しを行い、必要に応じ話し合いを持ち、ご本人・ご家族・スタッフの意見を反映した現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>管理者は、現状の把握から今後を検討する予定</p>	
27		<p>○ 個別の記録と実戦への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら、実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>センター方式を用いスタッフ全員が共有した情報を持ち、必要に応じて介護計画の見直しを行っている。</p>		
28		<p>○ 一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスにとらわれない、柔軟な支援や、サービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>受診や往診など医療機関との連携や相談、老人会などの催しに参加できるよう柔軟に対応している。</p>		
29		<p>○ 地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら、安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>地域ボランティアなどを受けて、体操レクや音楽鑑賞などをとりいれている。</p>		
30	11	<p>○ かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られた、かかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>協力医療機関、またはご本人が希望する医院での定期的な受診が受けられるよう支援している。</p>	<p>内科医師が毎週、往診している</p>	
31		<p>○ 介護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中で、とらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるよう支援している</p>	<p>介護職員は、入居者の日常の状態を常に把握し、気づいた点を定期受診の際、医師・看護師に伝え、適切な受診ができるよう支援している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		<p>○ 入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	常に病院関係者と情報交換を行っており、入居者の入・退院に関しての迅速な行動ができるよう関係づくりを行っている。		
33	12	<p>○ 重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や、終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所で出来ることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	ご家族や主治医とともに相談した上で、ご本人にとって最良の方針が立てられるよう取り組んでいる。	従来からの方針を進めている	
34		<p>○ 急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は、応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	全ての職員は常にマニュアルに目を通し、入居者の急変や事後発生時に迅速に対応できるようにしている。		
35	13	<p>○ 災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を、全職員が身に付けると共に、地域との協力体制を築いている</p>	当ビルの消防訓練に参加し、全ての職員は災害発生時、迅速に対応できるようにしている。また地域との協力体制の強化にも努めている。	家主さんの意向で、従来と同じように防火避難訓練を行っている	
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	<p>○ 一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りや、プライバシーを損ねない言葉かけや、対応をしている</p>	プライバシーに関する内容は必ず、スタッフルームにて話すようにしている。また、言葉かけや対応については一人ひとりの人格を尊重している。	管理者は、職員とよく話し合いの上で、検討することになっている	
37		<p>○ 利用者の希望の表出や、自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が、思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	ご本人の思いが表現しやすい雰囲気づくり一人ひとりに合わせた説明方法を用い、理解したうえで、自己決定できるように支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
38		○ 日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望に沿って支援している	常に一人ひとりのペースに合わせ、どのように過ごしたいかを聞きながら、希望に沿った支援を行っている。		
		○ 身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみや、おしゃれが出来るように支援している	希望時に理容店に行ったり、外出時の身だしなみが整えられるよう声かけをおこなっている。		
40	15	○ 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	季節感を取り入れたメニューを取り入れるなど工夫しており、片付けや準備など、できることはやってもらえるようにしている。	仕入れ業者のメニューとなっている、カロリーと体重は把握でき対処している	
			○ 栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	全ての職員は入居者の健康管理を常日頃、注意しており、安定した栄養摂取量やバランスが保たれるよう、支援している。	
42		○ 口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や、本人の力に応じた口腔ケアをしている	職員は毎食後、入居者の口腔状態を確認しており、入眠前には一人ひとりの力に応じた口腔ケアを行っている。		
	43	16	○ 排泄の自立支援 排泄の失敗や、おむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や、排泄の自立に向けた支援を行っている	一人ひとりの排泄の周期の把握に努め、自立した排泄が出来るよう支援している	管理表により誘導しているが、問題となる方には、特別に配慮している
			○ 便秘の予防と対応 便秘の原因や、及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘予防のため、飲食物の工夫や十分な水分の補給、適度な運動を促すなど声かけし、対応している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように、職員の都合で、曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>男女別で曜日は決めてはいるが、一人ひとりの希望やその日の体調により、ご本人の希望に合わせた入浴の支援を行っている。</p>	<p>希望に合わせて入浴に応じている</p>	
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣や、その時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>不眠時はゆっくり話を傾聴するなど、その時々状況に応じ、安心して眠れるよう支援している。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と、症状の変化の確認に努めている</p>	<p>薬の目的や副作用、用法・用量は常に把握しており、服薬の支援や症状の変化は常に注意している。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や、力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>一人ひとりの生活歴に合わせた声かけや、役割を持っていただくことなどで、張り合いや喜びのある日々を過ごしていただけるよう支援している。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	<p>入居者一人ひとりの希望に合わせ、外出している。また、地域の催し等には、積極的に参加してもらえよう声かけしている。</p>	<p>天候と希望に応じてよく出掛けている</p>	
50		<p>○お金の所持や、使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり、使えるように支援している</p>	<p>自己管理しておられる入居者には買物時、出費が増えないよう声かけし、お金の大切さを理解してもらえよう支援している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○ 電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に、本人自らが電話をしたり、手紙のやりとりができるように支援している</p>	電話・手紙のやりとりは、いつでもできるようにしている。		
52	19	<p>○ 居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な混乱を招くような刺激(音、光、色、広さ、温度など)が無いように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地良く過ごせるような工夫をしている</p>	共有空間は常に清潔を保ち、入居者に不快感を与えないようにしている。また、季節感や生活感を取り入れた居住地空間の工夫をしている。	リビングは落ち着いた高齢者向きの雰囲気となっている	
53		<p>○ 共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で、思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	リビングでテレビやビデオを見たり、喫煙場所・テーブル席などで自由に過ごせるよう配慮している。		
54	20	<p>○ 居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや、好みのものを活かして、本人が居心地良く過ごせるような工夫をしている</p>	居室には馴染みの物が置けるスペースを確保するなど、居心地よく過ごせるよう工夫している。	多くの利用者の備品以外のものとしては、テレビが主となっている	
55		<p>○ 一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつ、できるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	ベッド柵やトイレ・浴室の廊下の手すりを設置し、安全で自立した日常生活が送れるように努めている。		

V アウトカム項目			
56	職員は利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	① ほぼ全ての利用者の
			② 利用者の2/3くらいの
			③ 利用者の1/3くらいの
			④ ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	① 毎日ある
			② 数日に1回程度ある
			③ たまにある
			④ ほとんどない
58	利用者は一人ひとりのペースで暮らしている	○	① ほぼ全ての利用者が
			② 利用者の2/3くらいが
			③ 利用者の1/3くらいが
			④ ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている		① ほぼ全ての利用者が
		○	② 利用者の2/3くらいが
			③ 利用者の1/3くらいが
			④ ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている		① ほぼ全ての利用者が
		○	② 利用者の2/3くらいが
			③ 利用者の1/3くらいが
			④ ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	① ほぼ全ての利用者が
			② 利用者の2/3くらいが
			③ 利用者の1/3くらいが
			④ ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	① ほぼ全ての利用者が
			② 利用者の2/3くらいが
			③ 利用者の1/3くらいが
			④ ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聞いており、信頼関係ができています		① ほぼ全ての家族と
			② 家族の2/3くらいと
			③ 家族の1/3くらいと
		○	④ ほとんどいない
64	通いの場やグループホームに、馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている		① ほぼ毎日のように
			② 数日に1回程度
		○	③ たまに
			④ ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている		① 大いに増えている
			② 少しずつ増えている
		○	③ あまり増えていない
			④ 全くない
66	職員は生き活きと働けている	○	① ほぼ全ての職員が
			② 職員の2/3くらいが
			③ 職員の1/3くらいが
			④ ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスに、おおむね満足していると思う	○	① ほぼ全ての利用者が
			② 利用者の2/3くらいが
			③ 利用者の1/3くらいが
			④ ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスに、おおむね満足していると思う		① ほぼ全ての家族が
			② 家族の2/3くらいが
			③ 家族の1/3くらいが
		○	④ ほとんどいない